

125. ヘルペスウイルスにご注意

研修センター所長 藤本 裕之

私たち下水道人は、下水処理が微生物により成立しているため、微生物のおかげで生活しています。いわば、「微生物で食べている」わけです。しかしながら、日常生活では、厄介な微生物に悩まされる、すなわち「微生物に食べられる」ことが多くあります。

昨年末に、ヘルペスが発症しました。唇に水泡が現れ、2～3日の内に近辺へと拡大・侵攻する兆候が現れました。職場の近所の医者に行ったところ、「典型的なヘルペスですね。でも、かなり深刻ですね。」ということで、飲み薬と塗り薬を処方され、「特効薬ですから、4～5日で治りますよ。」との言葉を頂きました。医者言葉通りに、4～5日で完治しました。

ヘルペスは、ヘルペスウイルスが発症したもので、20歳代で6～7割、50歳代以上では、ほぼ全員がヘルペスウイルスに感染しているそうです。ヘルペスウイルスに感染しても、通常は神経細胞に潜伏しているだけで、特に症状は現れません。ただ、ストレスや多忙などで体調が悪化した時に発症するとのこと。私も、12月は非常に多忙だった(?)のために、体調が悪化し、発症したのだろうと想像しています。昨年度の冬は、多忙のせいかストレスか、かなり体調がすぐれなかったらしく、その後2回、合計3回も医者のお世話になってしまいました。

ヘルペスウイルスは、単純ヘルペスウイルスⅠ型、と単純ヘルペスウイルスⅡ型、水痘・帯状疱疹ウイルスに分けられます。単純ヘルペスウイルスⅠ型は、唇や口に現れ水泡を発生させるものです。単純ヘルペスウイルスⅡ型は、性器に水泡を発生させます。水痘・帯状疱疹ウイルスは、かなりの痛みを伴い広範囲に発生する、いわゆる「帯状ヘルペス」を発症させるものです。

私もウイルスの検査をしてもらったのですが、「単純ヘルペスウイルスⅠ型」という結果でした。検査結果を聞きにいった時の医者は若い女医さんでしたが、「赤ちゃんにキスするとうつるので、控えてください。」と言われました。「では、赤ちゃん以外ではどうなのですか?」という質問が出掛かりましたが、そこは大人の対応で、言葉を飲み込みました。

40歳代後半から1～2年に1回、特に冬場に同じ症状が現れていましたが、序々に症状がひどくなるようです。昨年度の冬は、かなり体調がすぐれなかったらしく、その後2回、合計3回も医者のお世話になってしまいました。

さらに、昨年は、ノロウイルスにも襲われてしまいました。2～3日で回復したのですが、七転八倒の苦しみを味わう結果となりました。幸いなことに、インフルエンザには感染しませんでした。

これから、忘年会や新年会のシーズンを迎えます。また、年度末を控え、何かと多忙になりますが、ヘルペスウイルス、ノロウイルス、インフルエンザウイルスなどが待ち構えています。冬場の体調管理には十分に留意したいものです。